

環境調査結果のお知らせ

平成24年8月8日午前9時から、浦ノ内湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温26～31℃、塩分27～31、溶存酸素濃度0～12mg/lでした。透明度は2～4mで、有害種のカレニア・ミキモイが多く確認されました。

水温と塩分(表1・2)

湾内の水温は25.72～30.60℃、塩分は26.65～30.74でした。前回調査時(H24.8.6)と比較して、水温は0～1℃、塩分は0～0.5上昇していました。

溶存酸素濃度(表3)

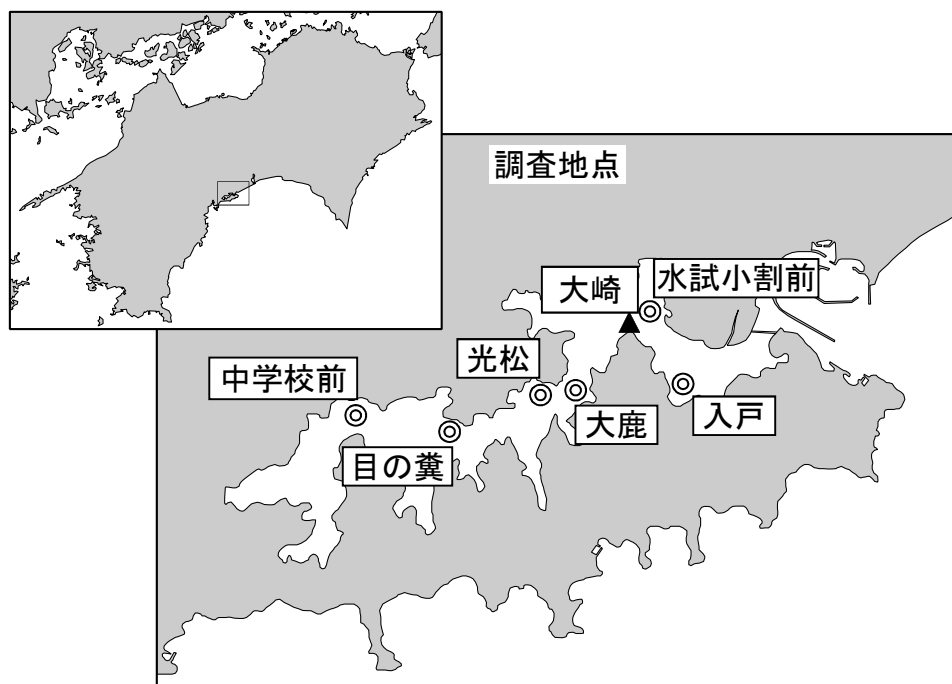
湾内の溶存酸素濃度は0.29～11.77mg/lでした。前回と比べて、表層は0～1mg/l低下していました。大鹿から湾奥側では10m以深が貧酸素状態(4.3mg/l以下)が続いており、光松から湾奥側では5m層も貧酸素化していました。

プランクトン(表4・5)

透明度は2.0～3.9mでした。

大崎周辺で非常に濃い着色が見られました。検鏡の結果、魚類に対して非常に有害なカレニア・ミキモイが最高26,200cells/ml確認され、漁業被害が想定される密度を大幅に超えていました。パッチ状になった赤潮は潮流や風の影響で移動することがあり、また、午前中潮色が良くても午後から悪くなることもありますので、今後も餌止めを行うなど十分な対策をお願いします。その他、同じく有害種のシャットネラ属(アンティカ、マリナ)及びコクロディニウム・ポリクリコイデスも確認されました。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲む等して、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。



環境調査結果表(水温・塩分・プランクトン等)

表1 水温(°C)

調査地点	中学校前	目の糞	光松	大鹿	水試小割前	入戸	漁場平均 ※	前回調査(H24.8.6)	
								漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	30.11	30.39	30.54	30.60	29.84	29.25	30.51	29.43	1.08
2m	28.71	28.80	29.20	29.17	28.53	28.98	29.06	28.68	0.37
5m	27.92	28.28	28.26	28.27	28.33	28.72	28.27	28.13	0.14
10m	26.14	27.10	27.73	27.85	-	28.40	27.56	27.29	0.27
B-1m	25.72	25.92	26.32	26.40	28.33	28.32	26.21	26.32	▲ 0.11

表2 塩分

調査地点	中学校前	目の糞	光松	大鹿	水試小割前	入戸	漁場平均 ※	前回調査(H24.8.6)	
								漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	26.65	26.80	27.08	27.43	28.05	29.64	27.10	26.65	0.45
2m	28.99	29.32	29.23	29.24	29.96	29.87	29.26	28.98	0.28
5m	29.66	29.61	29.73	29.76	30.09	30.06	29.70	29.61	0.09
10m	29.40	29.73	29.89	29.93	-	30.53	29.85	29.85	0.00
B-1m	29.38	29.85	29.96	29.94	30.21	30.74	29.92	30.04	▲ 0.12

表3 酸素濃度(mg/l)

調査地点	中学校前	目の糞	光松	大鹿	水試小割前	入戸	漁場平均 ※	前回調査(H24.8.6)	
								漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	8.57	8.94	9.16	10.56	11.77	7.54	9.55	10.56	▲ 1.00
2m	5.19	5.76	7.75	8.11	6.03	7.11	7.21	7.44	▲ 0.24
5m	2.42	3.76	4.16	4.78	5.40	6.99	4.23	4.73	▲ 0.50
10m	0.43	1.52	3.28	3.79	-	6.51	2.86	2.74	0.12
B-1m	0.29	0.39	0.47	0.69	5.48	6.38	0.52	1.00	▲ 0.48

※ 目の糞・光松・大鹿の平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	中学校前	目の糞	光松	大鹿	水試小割前	入戸
水深	13.5	16.5	18.1	17.8	10.3	13.9
透明度	3.1	3.2	2.8	2.0	3.0	3.9
前回透明度	2.3	2.1	1.8	1.8	1.2	3.5

表5 プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ ミキモトイ	シャットネラ属 (アンティカ、 マリナ)	ココロディニウム・ ポリクリコイデス	ジャイロディニウム・ ドミナンス	ケイ藻類
中学校前	0m	4	0	0	6	3,350
	2m	9	1	8	5	730
	5m	0	2	8	1	780
目の糞	0m	27	0	0	2	5,610
	2m	92	5	3	4	1,770
	5m	1	4	0	2	440
光松	0m	680	1	0	2	1,680
	2m	1,210	2	0	0	1,050
	5m	3	1	0	0	660
大鹿	0m	3,410	0	0	1	1,020
	2m	3,940	3	0	2	800
	5m	12	1	0	2	20
大崎	0m	6,770	1	0	2	510
	2m	26,200	0	0	0	550
	5m	22	2	0	1	90
水試小割前	0m	44	0	0	3	760
	2m	552	0	0	3	540
	5m	12	0	0	1	40
入戸	0m	62	0	0	1	490
	2m	43	1	0	4	330
	5m	69	0	0	3	420

瀬戸内各府県の赤潮警報発令基準
(漁業被害が想定される細胞密度)
・シャットネラ属(マリナ、アンティカ)
10~100cells/ml
・カレニア・ミキモトイ
500~5,000cells/ml
・ココロディニウム・ポリクリコイデス
1,000cells/ml